

ROCKUMENTARY 2022 極上のロック・ドキュメンタリー



リンダ・ロンシュタット サウンド・オブ・マイ・ヴォイス

[2019 / アメリカ / 1時間33分]
監督：ロブ・エプスタイン / ジェフリー・フリードマン
ロック、ポップス、カントリーからソウルに至るまで、どんなジャンルの曲も歌いこなしたアメリカ西海岸を代表する稀代のシンガー、リンダ・ロンシュタット。彼女の輝かしい栄光と、その後の知られざる人生を描く。

スージーQ

[2019 / オーストラリア / 1時間44分]
監督：リアム・ファーマイジャー

女性ロックンガールの草分け的存在、スージー・クアトロの音楽史をたどる。60年代、姉妹で始めたガールズバンドに始まり、70年代のソロでの活躍。ジェンダー差別とも闘いながら大ヒット曲を連発し、イメージを一変させた。



ローレル・キャニオン ザ・ウエストコースト・ロック

[2020 / アメリカ / 2時間] 監督：アリソン・エルウッド
数多くのミュージシャンが引き寄せられるように移り住み、次々と名曲を生んだウエストコースト・ロックの聖地=ローレル・キャニオン。ザ・バーズ、CSN&Y、ジョニ・ミッチェルなどが“魔法の音楽磁場”の歴史を振り返る。

8/27 (土) 15:50 上映後
ゲスト / 五十嵐正さん (音楽評論家)

イベント

～音楽評論家 五十嵐正 トーク&レコード・コンサート～
映画「ローレル・キャニオン」周辺のウエストコースト・ロック名盤を聴く

料金 / 前売・全席自由 2,000円 (税込) ※当日 + 300円

会場 / ほとり座・ライブホール
チケット購入はこちらから



ウエストコースト・ロックの名曲を聴きながら「ローレル・キャニオン」「リンダ・ロンシュタット サウンド・オブ・マイ・ヴォイス」の時代背景、エピソード、そして裏話を、多数の当事者にインタビューしてきた五十嵐正が2時間語り尽くします!



7/30 (土)	31 (日)	8/1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)	15 (月)	16 (火)	
屋根の上に吹く風は 10:00	アフロース・アフロース! 10:00	アフロース・アフロース! 12:20	イントロダクション 14:30	あなたの顔の前に 16:00	あなたの顔の前に 16:00	イントロ 18:30	あなたの顔の前に 18:30	あなたの顔の前に 18:30	教育と愛国 10:00	長崎の郵便配達 10:00	息子の面影 12:10	教育と愛国 14:20	教育と愛国 16:40	教育と愛国 16:40	ONODA 一万夜を越えて 10:00	かば 13:20*	誰かの花 16:30	長崎の郵便配達 15:40
ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	ニューオーター 19:30	息子の面影 12:10	息子の面影 14:20	息子の面影 14:30	息子の面影 14:30	息子の面影 16:40	長崎の郵便配達 20:50	かば 20:20	誰かの花 17:40	長崎の郵便配達 20:20	
17 (水)	18 (木)	19 (金)	20 (土)	21 (日)	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	9/1 (木)	2 (金)		
長崎の郵便配達 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00*	サタデー 10:00*	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00	サタデー 10:00		
ONODA 一万夜を越えて 12:00	サタデー 12:10	サタデー 12:10	サタデー 12:10	サタデー 12:10	サタデー 12:30	サタデー 12:30	サタデー 12:30	サタデー 12:30	サタデー 12:30	サタデー 13:00	サタデー 13:00	サタデー 13:00	サタデー 12:10	サタデー 12:10	サタデー 12:10	サタデー 12:10		
かば 15:20	サタデー 14:10	サタデー 14:10	サタデー 14:10	サタデー 14:10	サタデー 15:10	サタデー 15:10	サタデー 14:30	サタデー 14:30	サタデー 15:50*	サタデー 15:50*	サタデー 15:50*	サタデー 15:50*	サタデー 14:30	サタデー 14:30	サタデー 14:30	サタデー 14:40		
誰かの花 18:00	サタデー 16:50	サタデー 16:50	サタデー 16:50	サタデー 16:50	サタデー 16:50	サタデー 16:50	サタデー 16:50	サタデー 16:50	サタデー 16:30	サタデー 16:30	サタデー 16:30	サタデー 16:30	サタデー 16:30	サタデー 16:30	サタデー 16:30	サタデー 16:30		
女神の継承 20:20	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30	サタデー 19:30		

※9:30～オーケストラ ※開場は開映10分前です。★イベント ■サービステレ



ライブ

EVENT & WOMENIC

2020

8

monthly schedule
www.hotori.jp

ホン・サンス監督 新作同時公開

7/30 - 8/5



イントロダクション

[2020 / 韓国 / 1時間6分] 出演：シン・ソクホ / パク・ミン
将来の進路も定まらず、まだ何者にもなれないナイーブな青年ヨンホ。韓国とベルリンを舞台に、父、恋人、母との再会と三つの“抱擁”を通して、一人の若者の人生が紐解かれていく。第71回ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞。

7/30 - 8/5



あなたの顔の前に

[2021 / 韓国 / 1時間25分] 出演：イ・ヘヨン
元女優のサンオクは長いアメリカ暮らしから突然韓国の妹を訪ねるが、帰国の理由を明らかにしない。捨て去った過去や後悔と向き合いながら、かけがえのない心のよりどころを見出していく、たった一日の出来事が描かれる。

7/30 - 8/5



アプローチ、アプローチ！ 囚人たちの大舞台

[2022 / フランス / 1時間45分]
監督：エマニュエル・クールコル 出演：カド・メラッド
ラスト20分。感動であなたはもう席を立たない！演技ワークショップの講師として招かれたエチエンヌは、一癖も二癖もある囚人たちに演技を指導することに。舞台は予想以上の好評を呼び、大劇場パリ・オデオン座からオファーが！

ヴェネツィア国際映画祭
審査員大賞受賞

7/30 - 8/5



NEW ORDER ニューオーダー

[2020 / メキシコ・フランス / 1時間26分] PG12
監督：ミシェル・フランコ
マリアンヌの結婚を祝うため政界の名士たちが集まる中、近所で貧富の差に対する抗議運動が暴動化し襲撃される。しかし逃げ出したマリアンヌたちを待ち受けていたのは、暴動を好機と捉えた軍によるクーデターだった。

8/6 - 8/19



長崎の郵便配達

[2021 / 日本 / 1時間37分]
監督：川瀬美香 出演：イザベル・タウンゼンド
『ローマの休日』のモチーフになったといわれるタウンゼンド大佐が、長崎の少年に出会い生まれた物語。娘であり女優のイザベル・タウンゼンドさんが、父親の著書を頼りに長崎でその足跡をたどり、父と谷口さんの想いを紐解いていく。

サンダンス国際映画祭
観客賞・審査員特別賞

8/6 - 8/12



息子の面影

[2020 / メキシコ・スペイン / 1時間39分]
監督：フェルナナンダ・バラデス
貧困から抜け出すため、仕事と夢を求めたマグダレーナの息子は、アメリカへ旅立ちそのまま消息を絶つ。息子を探すため村を出発したマグダレーナは、母親を探している青年ミゲルに出会い共に旅を始める。

みんなの学校ってどんなところ？

7/30 - 8/5



屋根の上に吹く風は

[2021 / 日本 / 1時間48分] 監督：浅田さかえ
授業も、テストも、クラスもない、鳥取県の山あいにある新田サドベリースクールでは、学校のルールづくりや全体の運営などの全てに子どもたちが携わる。子どもと大人の自由と葛藤の1年を追ったドキュメンタリー！

8/6 - 8/12



教育と愛国

[2022 / 日本 / 1時間47分] 監督：齊加尚代 語り：井浦新
軍国主義へと流れた戦前の反省から、戦後の教育は政治と常に一線を画してきたが、第一次安倍政権下で教育基本法が改変され、「愛国心」条項が盛り込まれる。目に見えない力を増していく教科書検定制度に迫る危機を描き出す。

舞台挨拶 8/7(日) 14:20 上映後
ゲスト / 齊加尚代 監督・澤田隆三プロデューサー

8/13 - 8/19



かば

[2021 / 日本 / 2時間15分] 監督：川本貴弘
1985年夏、被差別部落が隣接する大阪市西成区北部の中学校。蒲先生ら教師たちは、差別と偏見、貧困などさまざまな問題を抱える生徒らと向き合い、彼らの生き方を模索する。実在した中学生教師たちの生き方を描いたドラマ。

舞台挨拶 8/13(土)・14(日) 13:20 上映後
ゲスト / 川本貴弘 監督

8/6 - 8/12



ナイト・オブ・ザ・リビングデッド

[1968 / アメリカ / 1時間36分] 4Kリマスター版
監督：ジョージ・A・ロメロ 出演：デュアン・ジョーンズ
【ゾンビ映画】の始まりにして金字塔！父の墓参りにやってきたバーバラと兄に、突然よみがえった死体＝ゾンビが襲いかかる。兄は犠牲となり、バーバラは近くの民家に逃げ込むが、ゾンビの群れに取り囲まれてしまう。

8/13 - 8/26



女神の継承

[2021 / タイ・韓国 / 2時間11分] R18+
監督：バンジョン・ピサンタナクーン
『哭声/コクソン』のナ・ホンジン原案・製作。タイ東北部の村で受け継がれてきた祈祷師一族の血を継ぐミンは、凶暴な言動を繰り返すようになる。ミンにとり憑いていたのは想像をはるかに超えた強大な存在だった。

8/20 - 8/26 (日替わり上映)

青春ダンス映画の金字塔



サタデー・ナイト・フィーバー ディレクターズカット 4Kデジタルリマスター版 PG12

[2017 / アメリカ / 2時間1分] 監督：ジョン・バダム 出演：ジョン・トラボルタ
世界中にディスコブームを巻き起こした青春映画！ペンキ屋で働くトニーの唯一の楽しみは、土曜の夜にディスコで踊り明かすこと。ある日ディスコでステファニーと出会い、一緒にコンテスト優勝を目指して練習を開始するが…。



フラッシュダンス 4Kデジタルリマスター版

[1983 / アメリカ / 1時間35分] 監督：エドリアン・ライン 出演：ジェニファー・ピールズ
世界的ヒットを記録した青春ドラマ。風は溶接工、夜はクラブのダンサーとして働くアレックスは、プロのダンサーを目指していた。しかし、いざダンスカンパニーの入団オーディションを受けようとすると気おくれしてしまう。

俳優カトウシンスケ特集

シネマ・ジャック&ベティ30周年企画映画
主演のカトウシンスケさんが出演されている
「ONODA」も同時上映

8/13 - 8/19



ONODA

[2021 / フランス・日本・ドイツ・ベルギー・イタリア / 2時間54分]
監督：アルチュール・アラリ 出演：遠藤雄弥 / カトウシンスケ
1945年の終戦を知らされないまま約30年間、フィリピン・ルバング島で秘密戦の任務を遂行し続けた実在の人物・小野田寛郎がいた。壮絶で孤独な日々と戦った彼は何を信じ、何と戦い、そしてどう生き抜いたのか。

8/13 - 8/19



誰々の花

[2021 / 日本 / 1時間55分]
監督：奥田裕介 出演：カトウシンスケ
孝秋は父と母が気がかりで実家の団地を訪れる。ある日、落下した植木鉢が住民に直撃する騒ぎが起こる中、父の手袋に土が付着しているのを見つけた孝秋は、疑いを募らせていく。横浜シネマ・ジャック&ベティ30周年企画映画。

8/20 - 8/26



メイド・イン・バングラデシュ

[2019 / フランス・バングラデシュ・デンマーク・ポルトガル / 1時間35分]
監督：ルバイヤット・ホセイン
世界の繊維産業を支えるバングラデシュの衣料品工場で働くシムは、厳しい労働環境にあえぐ同僚たちと労働組合を結成すべく立ち上がる。工場幹部からの脅し、夫や仲間の反対に遭いながら労働法を学び奮闘するが…。

8/20 - 9/2



杜人(もりびと)

環境再生医 矢野智徳の挑戦

[2022 / 日本 / 1時間41分] 監督：前田せつ子
ある人は「地球の医者」と呼び、ある人は「ナウシカのよう」と言う。人間よりも自然に従う、風変わりな造園家で環境再生医の矢野智徳に3年間密着。環境問題の根幹に風穴をあける奇跡のドキュメンタリー。

8/27 - 9/2



キャスティング・ディレクター

ハリウッドの扉を開いた女性
[2012 / アメリカ / 1時間29分] 監督：トム・ドナヒュー
「キャスティング」の先駆者マリオン・ドハティを中心に、映画業界で最も重要な仕事の一つでありながら、最も知られていない仕事にスポットを当てる。スコセッシ、イーストウッドら豪華出演者が語る。

8/27 - 9/2



百年と希望

[2022 / 日本 / 1時間47分] 監督：西原孝至
創立100周年を迎えた日本共産党は、左派政党として独自の立ち位置を貫いてきた。コロナ禍の選挙や「しんぶん赤旗」編集部、若い世代の支援者などを取材。彼らの姿を通して新しい社会の可能性とその希望について問いかける。

舞台挨拶 8/27(土) 10:00 上映後
ゲスト / 西原孝至 監督